

1 製品および会社情報

1.1 製品の識別

- ・製品名: **Sinto Grind TC-X1500**
 ・製品コード: A8101384

1.2 適切な使用方法と禁止された使用法に対する忠告

- ・製品用途: 工業用

1.3 安全データシートへの供給元詳細

国内販売元	株式会社keg
住所	〒612-0029
電話番号	(075) 643-3201
FAX番号	(075) 641-3961
E-Mail	keg-kyoto@keg-kyoto.co.jp
緊急連絡先	(075) 643-3201
製造元	(ドイツ) Oelheld GmbH
住所	Ulmer Str.135-139 70188 Stuttgart Germany
電話番号	+49-(0)711-16863-0
FAX番号	+49-(0)711-16863-3500
E-Mail	msds@oelheld.de (in German or English)
緊急連絡先	Dr. Schnödt Tel. +49 71 11 68 63-997
(in German or English)	Mr Philipp Storr Tel. +49 71 11 68 63-992
	Mr Martin Storr Tel. +49 71 11 68 63-993
	Mr Speth Tel. +49 71 11 68 63-994
	Mr Philipp Storr Tel. +49 71 11 68 63-996

2 危険有害性の要約

2-1 GHS分類	(規則(EC) No 1272/2008 により分類)
急性毒性(経口)	: 区分に該当しない
急性毒性(経皮)	: 区分に該当しない
急性毒性(吸入)	: 区分に該当しない
皮膚腐食性及び皮膚刺激性	: 区分に該当しない
眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性	: 区分に該当しない
特定標的臓器毒性 (単回ばく露)	: 区分に該当しない
特定標的臓器毒性 (反復ばく露)	: 区分に該当しない
吸引性呼吸器有害性	: 区分1
水生環境有害性(急性)	: 区分に該当しない
水生環境有害性(長期間)	: 区分に該当しない

Asp.Tox. 1 H304 飲み込んだり気道に侵入すると生命に危険の恐れあり

2-2 ラベル要素 規則(EC) No 1272/2008 により分類
 同製品はCLP規則に従って厳密に分類とラベル表示される

- ・危険性を示すラベル表示

GHS08



- ・消防法 危険物第4類 第4石油類 非水溶性 危険等級Ⅲ
 ・危険喚起語 危険
 ・危険性決定要素 Distillates hydrocarbons_C18-C50 branched,cycle and linear
 ・危険有害性情報 H304 飲み込んで気道に侵入すると生命に危険のおそれ
 ・注意書き

P301+P310 万一飲み込んだ場合: すぐにPOISON CENTERの医師に電話する事

改定: 2025.4.1

- P331 無理に吐かせないこと
- P405 施錠して保管すること
- P501 内容物、容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

2.3 その他の危険物

- ・ PBT及びvPvBによる評価結果
- ・ PBT: REACHによるPTB物質を識別する成分は現在のところ知見なし
- ・ vPvB: REACHによるvPvB物質を識別する成分は現在のところ知見なし

3 組成および成分情報

- 3.2 化学的特性 混合物
- ・ 名状 水素分解オイルと無害な添加剤の混合物

危険物質表示

CAS: 848301-69-9 Reg.nr.:01-0000020163-82	Distilates hydrocarbons_C18-C50 branched,cycle and linear	Asp.Tox.1, H304	50- 100%
--	---	--------------------	-------------

追加情報 記載されたリスクフレーズの文言についてはセクション16を参照すること

4 応急処置

4.1 応急処置に関する記述

- ・ 一般的な処置 製品による衣服の汚れを除去し、症状発生の疑いがある場合には医師に相談する
医師の診断を受ける場合、このSDSを提示すること
- ・ 吸入した場合 新鮮な空気のある場所に移して安静にし、必要に応じて医師の診断を受ける
- ・ 皮膚に付着した場合 ただちに多量の水及び石鹸で洗い、よく濯ぐこと
- ・ 目に入った場合 清浄な流水で数分洗眼する。症状が持続する場合、医師の診断を受ける
- ・ 飲み込んだ場合 無理に吐かせず、すぐに救急車を呼ぶ事

4.2 重篤な症状・影響（急性・慢性） データなし

4.3 治療時の医学的配慮や特別な治療について データなし

5 火災時の措置

5.1 消火剤

- ・ 適正な消火剤 CO2,パウダー, 水スプレー, 火が大きい際は耐アルコール泡消火器等
- ・ 不適切な消火剤 ウォータージェットの使用は火災を拡大し危険な場合がある

5.2 火災時の特定危険有害性 特定の火災条件下においては、一酸化炭素など少量の有毒ガスが発生する恐れがある

5.3 消火時の注意 自給式呼吸器及び完全防火服を着用する

- ・ 保全準備 ウォータースプレーと容器を用意する
- ・ 追加項目 消火物や消火剤の付着した廃棄物は、公的な規定に従って処理する事

6 漏出時の措置

6.1 対人に対する注意事項, 緊急事態における対処の手順

十分な通気性を確保する, 漏出した油剤で滑る危険性がある

6.2 環境に対する注意事項 下水道や土壤に流出しないようにする
使用した洗浄水は適切に処分する

6.3 製品を廃棄する方法と媒体 液体と結合して吸い取る性質のある物（砂, 珪藻土, 酸結合剤, 結合剤全般, おがくずなど）を使用し、第13章に従って廃棄する事
水の表面に浮いた物も取り除く(上澄みをすくう, 濾すなど)

6.4 その他の参考情報 7章の安全な取扱を確認

7 取扱い及び保管上の注意

- 7.1取扱注意事項 十分な換気を確保する
容器の開封と取り扱いに気を付ける
- 火災や爆発の
防止 発生したミストと空気の混合物は可燃性・爆発性の蒸気を形成する。
ミストを逃がす開口部と消火装置を備え、カプセル化された機械にて
使用すること
- 7.2安全な保管条件
- 保管:
 - 条件を満たす倉庫と容器 弊社のオリジナル容器で保管する事
 - 共通の保管施設での保管 必須ではない
 - 保管状態の詳細 密封容器で涼しく乾燥した場所で、熱、直射日光、紫外線を避ける事
- 7.3特定のエンドユーザーに向けて データなし

8 暴露防止及び保護措置

- 技術設備の設計 データなし 7章を参照
- 8.1制御機器
- 現場をモニタリングする最低限の器具 推奨: TLV(オイルミスト): TWA5mg/m³
STEL10mg/m³(ACGIH)
- 8.2露出の制限
- 個人の保護具
 - 工場全体の保護と衛生措置 通常の予防策として休憩や終業の際に良く手を洗う事
 - 呼吸器系の保護 作業場所の通気が良ければ特に必要なし
 - 手の保護 手袋をはめるか、クリームなどを良く塗る
 - 手袋の素材 ニトリルゴム, NBR
 - 手袋の素材への浸透 メーカーによると厚さ0.4mm以上のEN374製保護手袋で480分以内が
化学品やそれに類する物が浸透、通過しない値である
(EN374劣化評価クラス6対象)但し上記は実験室での試験結果に基づくもので
実際の作業環境によるものではなく、最終ユーザーの責任の下で最も適切な
手袋を選択する事
 - 眼の保護 充填中はゴーグルを装着される事を推奨する
 - 身体の保護 適切な作業着を着用する

9 物理的及び化学的性質

- 9.1基本の物理的、化学的特性について
- 一般情報
 - 物理的状态
 - 形状: 液体
 - 色: 無色透明
 - 臭い: 独特
 - 臭気限界値: データーなし
 - ph-値: 非該当
 - 状態変化
 - 溶解点/氷結点 未測定
 - 初期沸点と沸騰範囲 > 280°C
 - 引火点 > 208°C

改定: 2025.4.1

- ・ 発泡性（個体，ガス）： 非該当
- ・ 着火温度： > 320℃
- ・ 腐敗温度： データーなし
- ・ 自動着火温度： データーなし
- ・ 起爆性 製品自体は爆発しないが、引火点を超える空気や蒸気が混入するか
もしくは強力なミストが発生した場合は爆発する可能性がある
- ・ 爆発限界
 - 下限： 1.0Vol%
 - 上限： 10.0Vol%
- ・ 蒸気圧： データーなし
- ・ 密度（15℃） 0.82g/cm³
- ・ 相対密度： データーなし
- ・ 蒸気密度： データーなし
- ・ 蒸発率： データーなし
- ・ 水に対する溶解性 溶解しないか溶解しにくい
- ・ 分配係数：オクタノール/水分 データーなし
- ・ 粘度：
 - 動態粘度： データーなし
 - 40℃での動性粘度 15mm²/s
- ・ 溶剤の含有量
 - VOC(EC)： なし
- ・ 酸化性： データーなし
- 9.2その他の情報 関連情報なし
- ・ 追加情報 上記の情報はE U基準67/548/E Cの添付VのパートA、もしくは
同程度の正確な方法によって測定されている

10 安定性及び反応性

- 10.1反応性 データなし
- 10.2化学特性
 - ・ 熱分解 通常取り扱いにおいて分解しない
- 10.3危険反応の可能性 危険反応なし
- 10.4避難条件 前述を確認
- 10.5不適合な物質 強力な酸化剤
- 10.6有害な分解生成物 有害な分解生成物無し

11 有害性情報

- 11.1有害性の影響に関する情報
 - ・ 急性毒性 既存のデータによると急性な毒性の基準にはあてはまらない
 - ・ LD/LC50の値が
分類にあてはまる ATE mix(混合物の急性毒性推定値)
経口：急性毒性値>2000mg/kg
経皮：急性毒性値>2000mg/kg
吸入：急性毒性値：ガス>20000ppmV；蒸気>20mg/l；埃/ミスト>5mg/l
 - ・ 一時的な刺激性
 - ・ 皮膚腐食性/刺激性 長期間又は繰り返し接触した場合皮膚脱脂による皮膚炎を起こす可能性がある
 - ・ 眼に対する重篤な損傷性/ 既存データには該当する結果なし
眼刺激性
 - ・ 呼吸器又は皮膚感作性 既存データに該当する結果なし

改定: 2025.4.1

・ 生殖細胞変異原性	既存データに該当する結果なし
・ 発癌性	既存データに該当する結果なし
・ 生殖毒性	既存データに該当する結果なし
・ 特定標的臓器毒性 (単回)	既存データに該当する結果なし
・ 特定標的臓器毒性 (反復)	既存データに該当する結果なし
・ 吸引による危険性	飲み込んで気道に侵入すると生命に危険のおそれ

12 環境に対する影響

12.1 毒性

・ 水生毒性	
848301-69-9 Distilates hydrocarbons_C18-C50 branched,cycle and linear	
LC/EC/IC 50	>100mg/l(微生物)
LL/EL/IL 50	>100mg/l(藻)
	>100mg/l(甲殻類)
	>100mg/l(魚類)

・ 慢性的生態毒性	
848301-69-9 Distilates hydrocarbons_C18-C50 branched,cycle and linear	
NOEC	>100mg/l(魚類)

12.2 継続的分解性 データなし

12.3 生体内蓄積能 データなし

12.4 土壌移動性 データなし

- ・ 生態毒性による影響 :
- ・ 下水処理場における扱い 同製品は機械的な分離が可能である
- ・ 環境に関する追加情報 :

注意点 Water hazard class 1 (ドイツ規定/自社評価) :
水に対して僅かに有害
製品を地下水や下水道に放出してはならない

12.5 PBT及びvPvB評価 :

PBT REACHによるPBT物質を識別する成分は、現在のところ知見なし
vPvB REACHによるvPvB物質を識別する成分は、現在のところ知見なし

13 廃棄上の注意

13.1 水処理の方法

- ・ 推奨 公的な許可を得た廃油処理業者によって回収させる
内容物/容器を国際/国/都道府県/市町村の規則にしたがって廃棄すること。
事業者は産業廃棄物を自ら処理するか、又は都道府県知事の許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理する。
容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規並びに地方自治体の基準に従って適切な処理をすること。
空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

14 輸送上の注意

- 14.1 UN-Number(国連番号)
- ・ ADR, ADN, IMDG, IATA : Void
- 14.2 UN proper shipping name
- ・ ADR, ADN, IMDG, IATA : Void
- 14.3 Transport hazard class(es)

改定: 2025.4.1

- ADR
- Class : Void
- Label : Void
- ADN/R Class: : Void
- 14.4 Packing group
- ADR, IMDG, IATA : Void
- 14.5 Environmental hazards : 適用外
- 14.6 Special precautions for user : 適用外
- 14.7 Transport in bulk according to Annex II of Marpol and the IBC Code : 適用外
- Transport/Additional information : 上記仕様による限り危険性なし
- ADR
- Excepted quantities (EQ) : Void
- Limited quantities (LQ) : Void
- Transport category : Void
- Tunnel restriction code : Void
- IMDG
- Limited quantities (LQ) : Void
- Transport category : Void
- IATA
- Remarks : Void
- UN "Model Regulation" : Void

15 適用法令

15.1安全, 健康, 環境に関する法令/特に本製品に関する法令

- ラベル表示 規則(EC) No 1272/2008 により分類
製品はCLP規則に従って分類とラベル表示される。



GHS08

- 注意喚起語 危険
- 危険性決定要因 Distilates hydrocarbons_C18-C50 branched,cycle and linear
- 危険有害性情報 H304 飲み込んで気道に侵入すると生命に危険のおそれ
- 注意書き P301+P310 万一飲み込んだ場合: 直ちに毒物センター若しくは医師に連絡
すること
P331 無理に吐かせないこと
P405 施錠して保管すること
P501 内容物、容器を都道府県知事の許可を受けた専門の
廃棄物処理業者に委託し処分すること。
- 消防法 危険物第4類 第4石油類 非水溶性 危険等級Ⅲ
- PRTR法 非該当
- 労働安全衛生法 名称等を通知すべき有害物 : 鉱油
- 毒物・劇物取締法 非該当
- 廃棄物の処理及び清掃に
関する法律 産業廃棄物規則(拡散、流出の禁止)
- 化学物質排出把握管理促進法 非該当
- 水質汚濁防止法 油分排出規制(5mg/L許容濃度) ノルマルヘキサン抽出分として検出される
- 下水道法 鉱油類排出規制

改定: 2025.4.1

- ・ 悪臭防止法 非該当
- ・ 海洋汚染防止法 油分排出規制(原則禁止)
- ・ 道路法 危険物に該当しない
- ・ 船舶安全法、危険物
船舶運送及び貯蔵規制 危険物に該当しない
- ・ 航空法 危険物に該当しない
- ・ 指令2012/18/EU 空欄
- ・ ANNEX Iに規定される成分 指定されている成分は含まれていない
- ・ ANNEX XVIIの規定 (EC)No 1907/2006 制約条件: 3
- ・ 国際法規:
- ・ 事故規定: 本製品は危険物による事故条例にはあてはまらない
- ・ Water hazard class Water hazard class 1(自社評価): 水に僅かな害がある

16 その他の情報

この情報は現在の私達が知り得る限りの情報である。然しながら、特定の製品の性能を保証するものではなく、法的な有効性も有していない。

- ・ 関連する語句 H304 飲み込んで気道に侵入すると生命に危険のおそれがある
- ・ SDSに関する問い合わせ 調査 & 開発部

- ・ 略語とイニシャル解説: REACH:Registration,Evaluation andAuthorisation of Chemicals
(regulation(EC)No 1907/2006)

PBT:persistent,bioaccumulative,toxic

vPvB:very persistent,very bioaccumulative

EC:European community

NLP:no longer polymers

ENIECS:European Inventory of Existing Commercial chemical Substance

ELINCS:Auropean List of Notified Chemical Substance

CAS:Chemical Abstracts Service(division of the American Chemical Society)

WEL:Workime Exposure Limit

TWA:Time Time Weighted Average concentration

STEL:Short Time Exposure Limit

OEL:Occupational Exposure Limit

OEL(EU):Occupational Exposure Limit of the European Union

TLV:Threshold limit value

TWA:Time Weighted Average concentration

STEL:Short Time Exposure Limit

IOEL V:Indicative Occupational Exposure Limit Value

WEL:Worktime Exposure Limit

ACGIH:American Conference of Governmental Industrial Hygienists

DNEL:Derived No-Effect Level(REACH)

EC50:ecotoxic concentration,50percent

NOEC:no observed effect concentrations

NOELR:No observed effect loading rate

ATE:acute toxicity estimate

LC50:Lethal concentration,50percent

LD50:Lethal dose,50percent

VOC:Volatile Organic Compounds(USA,EC)

ADR:Accord europeen sur le transport des machandises Dangereuses par Route

(European Agreement concerning the international Carriage of Dangerous goods by Road)

IMDG:International Maritime Code for Dangerous Goods

IATA:International Air Transport Association

Asp.Tox.1:Aspiration hazard-Category 1

JIS:Japanes Industrial Standards: Z 7252 2019

JIS:Japanes Industrial Standards: Z 7253 2019